



## コール スロットリングの設定

- [コール スロットリングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [コール スロットリング設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

### コール スロットリングの概要

コールスロットリングによって、システムは新しいコール試行を自動的にスロットルまたは拒否できます。このアクションは、ユーザがオフフックからダイヤル トーンを聴取するまでに遅延を認識するようになる状況で実行されます。

この遅延を引き起こす可能性があるいくつかの要因は、次のとおりです。

- 過度なコール アクティビティ
- 低い CPU の可用性
- ルーティング ループ
- ディスク I/O の制限
- ディスク フラグメンテーション

システムはコール スロットリング パラメータに指定された値を使用して、ダイヤル トーンに遅延が生じている可能性があるかどうかを判別し、状況に応じてそれ以上コールスロットリングが必要なくなるタイミングも判別します。

ダイヤル トーンの過度な遅延を防ぐためにスロットリングが必要な場合、システムは **Code Yellow** 状態に切り替わり、新しいコール試行をスロットル（拒否）します。

ダイヤル トーンの遅延が、**call throttling** サービス パラメータで設定したしきい値を上回るとシステムが計算した場合、**Unified Communications Manager** は新しいコールを拒否します。コールスロットリングを有効化すると、新しいコールを試みたユーザはリオーダー音を受信します。電話のモデルに応じて、電話機のディスプレイにプロンプトが表示される場合もあります。

コールスロットリングは、ユーザがシステム管理者に不満を言ったり、システムのダウンや電話の破損ではないかと疑問を抱かせたりすることのある過度な遅延のタイプを効果的に防ぎま

す。このような遅延が発生するタイミングを予測するため、システムは常にシステムをモニタしています。

ダイヤルトーンへの遅延が `call throttling` サービス パラメータのガイドラインの範囲内である場合は、Unified Communications Manager は現在の `Code Yellow` ステータスを終了してスロットリングを中止し、新しいコールを再び許可します。

## コール スロットリング設定タスク フロー

### 手順

|        | コマンドまたはアクション                           | 目的   |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | <a href="#">コール スロットリングの設定 (2 ページ)</a> | コール スロットリングは、システムが過負荷なコール アクティビティ、低い CPU の可用性、ディスク フラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に有効になります。 |
| ステップ 2 | <a href="#">メモリ スロットリングの設定 (3 ページ)</a> | システムのメモリスロットリングを設定します。   |

## コール スロットリングの設定

コール スロットリングは、システムが過負荷なコール アクティビティ、低い CPU の可用性、ディスク フラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に発生します。これらの状況が修正されると、システムはスロットリングを自動的に終了します。コール スロットルは、`advanced service` パラメータを介して設定されます。ほとんどの導入の場合、デフォルト設定で十分です。



### 注意

コール スロットリング パラメータは、カスタマー サポートに指示された場合を除き、変更しないことを推奨します。

### 手順

**ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[システム(System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。

**ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リストからサーバを選択します。

**ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストから、[Cisco CallManager] を選択します。

**ステップ 4** [詳細設定 (Advanced)] をクリックします。

ステップ5 [コールスロットル (Call Throttling)] で、cll スロットル サービスのパラメータの値を設定します。パラメータ ヘルプの説明は、GUI にあるパラメータ名をクリックします。

- Code Yellow Entry Latency
- Code Yellow Exit Latency Calendar
- Code Yellow Duration
- Max Events Allowed
- System Throttle Sample Size

ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。

---

## メモリ スロットリングの設定

次の手順を使用して、システムのメモリ スロットリングを設定します。

### 手順

---

ステップ1 Cisco Unified CM Administration で、[システム(System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。

ステップ2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストから、Unified Communications Manager サーバを選択します。

ステップ3 [サービス (Service)] ドロップダウン リストから、[Cisco CallManager] を選択します。

ステップ4 [Advanced] をクリックします。

ステップ5 **Enable Memory Throttling** パラメータを [True] に設定します。

ステップ6 [メモリ スロットル (Memory Throttling)] 領域で、追加のサービス パラメータの値を設定します。パラメータ ヘルプでは、GUI でパラメータ名をクリックします。

ステップ7 [保存 (Save)] をクリックします。

---

